

Coca-Cola zero 2014 Suzuka 8 hours



【イベント概要】



公式B2ポスター

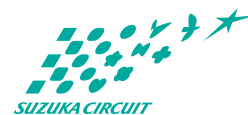
- イベント名称：2014 FIM 世界耐久選手権シリーズ第2戦
"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレース 第37回大会
- 併催：2014 鈴鹿・近畿選手権シリーズ第4戦
鈴鹿4時間耐久ロードレース (ST600)
- 日程：2014年7月24日(木) 8耐 フリー走行 4耐 特別スポーツ走行
25日(金) 8耐&4耐 計時予選/フリー走行
26日(土) 8耐TOP10 TRIAL
4耐 決勝レース
27日(日) 8耐 決勝レース(11:30スタート)
- 主催：一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会 (MFJ)
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 公認：国際モーターサイクリズム連盟 (FIM)
- 後援：文部科学省/観光庁/三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域
活性化協議会/一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 大会冠協賛：コカ・コーラ ゼロ
- 会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(2輪用:一周5.821km)
- 天候・動員：7月24日(木) 薄曇 33.6℃ 西北西の風4.5m/s 9,000人
25日(金) 快晴 35.6℃ 東の風3.0m/s 12,000人
26日(土) 快晴 31.4℃ 東北東の風3.5m/s 28,000人
27日(日) 曇 27.5℃ 北西の風4.2m/s 62,000人

【メディア概要】

- 取材者数：国内取材者312名(172媒体) 海外取材者31名
テレビ取材者30名
オフィシャルTV100名(カメラ20台)
- テレビON AIR：【BS】
TwelV (BS12) 7月27日(日) 11:00 ~ 20:30
【地上波】
CBCテレビ 8月10日(日) 25:33 ~ 26:03
- 携帯端末専用：モータースポーツチャンネル
モータースポーツ
総合情報サイト
(i-mode/Softbank/EZ- web 公式サイト ※一部有料)
「ライブタイミング」で公式ラップタイム&順位速報
「コメントライブ」でレースの内容を実況中継
予選から決勝まで全クラス・全マシンを完全サポート
- 大会ウェブサイト：<http://www.8tai.com/>



波乱の展開となった第37回大会を制したのは MuSASHi RT HARC-PRO 2年連続3回目の優勝を果たす



決勝直前の降雨による鈴鹿8耐史上初のスタート遅延で、6時間55分の戦いとなった今大会。レース序盤でトップに立ち、独走体制を固めたのはF.C.C. TSR Hondaでしたが、秋吉耕佑が108周目の130Rで転倒、順位を大きく下げ戦線離脱。代わってトップに立ったMuSASHi RT HARC-PROが安定した走りそのままチェッカーを受け、2年連続3回目の優勝を飾りました。2位には創設60周年を迎えた名門ヨシムラスズキシェルアドバンスレーシングチーム、3位にはTeam KAGAYAMA & Verityが入り、くしくも昨年同様の表彰台の顔ぶれとなりました。



決勝結果

	TEAM	RIDER	MACHINE	TIRE	LAP
優勝	MuSASHi RT HARC-PRO	高橋巧/オノ・ハラム/マイケル・ファン・デル・マーク	Honda CBR1000RR	BS	172周
2位	ヨシムラスズキシェルアドバンスレーシングチーム	津田拓也/ゾシユ・ウオ-ターズ/ランディ・ドゥ・ブニ	Suzuki GSX-R1000L4	BS	172周
3位	Team KAGAYAMA & Verity	芳賀紀行/トミック・ゴーター/加賀山就臣	Suzuki GSX-R1000	DL	171周
4位	MONSTER ENERGY YAMAHA with YSP	中須賀克行/ブロック・パークス/ゾシユ・ブルックス	Yamaha YZF-R1	BS	171周
5位	TOHO Racing with MORIWAKI	國川浩道/山口辰也/小林龍太	Honda CBR1000RR	BS	170周
6位	Honda 鈴鹿レーシングチーム	日浦大治朗/森井威綱/安田毅史	Honda CBR1000RR	BS	170周

タイヤ BS：ブリヂストン DL：ダンロップ



優勝した高橋巧選手
コカ・コーラ ゼロフラッグを掲げてのウイニングラン



ヨシムラのランデブー走行 ケビン・ショワツツと辻本聡
を擁し、注目を集めたレジェンドチーム(後方)は残念ながら
転倒リタイヤ



2年連続で3位に入賞した加賀山就臣選手

詳細なりザルト/レポートは8耐公式ウェブサイトをご参照ください。
<http://www.8tai.com/>

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

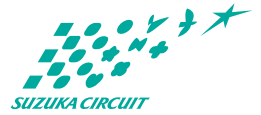
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

イベント&プロモーションシーン1 (コカ・コーラ ゼロ展開1)



1984年の第7回大会以来、冠スポンサーとして大会をサポートいただいているコカ・コーラ様。鈴鹿8耐に欠かせない存在として31回目の夏を迎えました。今回も「コカ・コーラ ゼロ」をプロモーションの核に、大会を「ゼロブラック」と「コークレッド」で華やかに、そして鮮やかに彩っていただきました。



GPスクエアに設置された「コカ・コーラ ゼロ」イベントステージ。大会のシンボリックな存在として、数々のイベントの舞台となりました。



「コカ・コーラ ゼロ」イベントステージに隣接して設置された「COKE STORE」。8耐ロゴ入りグッズをはじめ、多くのオリジナルグッズが注目を集めていました。



コカ・コーラ製品のキャップを3つ集めて挑戦いただいた「ZERO STOP GAME」。8秒からカウントダウンしてゼロでストップできれば豪華賞品をゲット!



メインステージ横に展示された「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8耐プロモーションバイク Honda CBR1000RR。レースさながらのバンク状態で記念写真をお撮りいただきました。



「コカ・コーラ ゼロ」サーキットクイーンによるコカ・コーラ製品PRとフォトセッションタイム。



目隠しをしてコカ・コーラとコカ・コーラ ゼロを飲み比べるイベント「TASTE TRIAL」。



飲み終わった飲料容器は「コカ・コーラリサイクルステーション」へ。コカ・コーラの地球規模での環境活動への取り組みをご紹介します。



お客さまに無料配布されたオリジナルうちわ。鈴鹿8耐のマスターアイテムとして喜ばれました。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

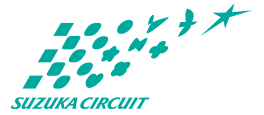
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

イベント&プロモーションシーン2 (コカ・コーラ ゼロ展開2)



バイク雑誌「MOTO NAVI」の河西啓介編集長プロデュースによるゲストトーク。加納典明氏(中)、チュートリアル福田充徳氏(右)と。



レジェンドライダー、グレアム・クロスビー氏(中)、宮城光氏(右)を迎えてのトーク。



(左2人目から)高橋巧選手、加賀山就臣選手、柳川明選手。トップライダーが一堂に会してのトーク。



加賀山就臣選手と親交の深い「1-E(イチノイー)」のミニライブ。加賀山選手、D. エガーター選手もステージに。



華やかさをいっそう加速させるキャンギャルオンステージ。



今大会のマーシャルバイクとして活躍したHonda NM4-01がイベントロゴに彩られてGPスクエアに展示されました。

PICK UP 1

例年にまして大きな注目を集めたヨシムラにちなんだプレミアムなトークステージが行われました。



ヨシムラ陣営2チームのライダー全員が出演しての豪華なトーク。



第1回大会優勝マシンのメカニック大矢幸二氏(右)と第3回優勝ライダーのグレアム・クロスビー氏(中)が出演した貴重なトーク。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

グランドスタンド手前「GPスクエア」は、パートナー企業様のプロモーション拠点として各社様ブースでのイベントやプロモーション活動で大会を華やかに盛り上げていただきました。

※株式会社カワサキモーターズジャパンのみ最終コーナーエリアに設置



コカ・コーラ ゼロ



エヴァンゲリオンレーシング



株式会社カワサキモーターズジャパン



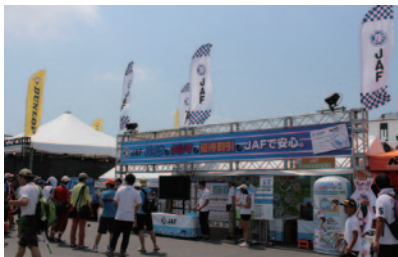
KTM JAPAN株式会社



スズキ株式会社



住友ゴム工業株式会社



一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)



日本特殊陶業株式会社



有限会社NUTEC Japan



株式会社ブリヂストン



株式会社ホンダモーターサイクルジャパン



ヤマハ発動機販売株式会社

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

オープニングセレモニー

27日(日)朝、決勝スタートを控えた期待感と緊張感が交錯する中、オープニングアトラクションとセレモニーが華やかに行われました。



グレアム・クロスビー氏(写真)が、1980年鈴鹿8耐を制したヨシムラスズキGS1000Rを、さらに以下の豪華メンバーが往年の名車をデモランしました。宮城光氏('76 RCB1000)、浅川邦夫氏('86 GSX-R750)、高橋裕紀選手('04 CBR1000RRW)



FIM代表代行 ジョルジ・ヴィエガス様より開催を祝してのご挨拶をいただきました。



前年の覇者MuSASHi RT HARC-PRO 本田重樹監督からトロフィーの返還が行われました。



コカ・コーライストジャパン株式会社 代表取締役副社長 マイケル・クームス様による開会宣言。

前夜祭

決勝前夜の26日(土)夜、国際レーシングコース グランドスタンドに多くのお客さまをお迎えして恒例の前夜祭が開催されました。



16回目を迎えた「バイクであいたいパレード」。今年は「鈴鹿へレディゴー」を合言葉に女性ライダーの参加を強化、約700台が参加してパレードをくりひろげました。



創設60周年とレジェンドチームの結成で、大きな注目を集めたヨシムラ。出場チームライダーと監督が一堂に会しての豪華なトークショーが行われました。



トークショーに続いてヨシムラのレジェンドマシンのデモ走行が豪華なメンバーで行われました。
手前から'80 GS1000R/グレアム・クロスビー氏、'86 GSX-R750 /ケビン・シュワッツ選手、'07 GSX-R1000/辻本聡選手



決勝レースの安全を祈願して、「バイクであいたいパレード」主催者の鈴鹿商工会議所青年部 久畑年生会長から宮城光氏へ、決勝で実際に使われるチェッカーフラッグが贈呈されました。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

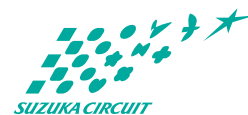
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

イベント&プロモーションシーン5 [BASE 8耐]



交通教育センター特設会場を舞台としたバイクイベント「MOTOMAX」を一新。「BASE 8耐」とのタイトルにて、体験・参加型イベントに加え、人気の高いパフォーマンス開催やレストラウンジの設置などで8耐観戦をよりお楽しみいただける“観戦基地”となりました。



快適にご観戦いただくための、まさに基地 (BASE) 「コカ・コーラゼロツリーングラウンジ」。



バイクの常識を覆す驚愕の空中パフォーマンス、フリースタイルモトクロス (FMX)。



バイクを自在に操る究極のバランス、トライアルデモンストレーション。



BMX、Human Beatbox、Freestyle Football、ブレイクダンスのパフォーマーが集合、ド派手なパフォーマンスを披露しました。



セグウェイ (写真) やYIKEBIKEなど次世代モビリティの体験試乗を行っていただいた「フューチャーモビリティエクスペリエンス」。



16～22才の若い世代を対象に行われたバイク体験試乗「U-22ファーストバイク体験」。免許なしでもOK。

PICK UP 2

国内外のニューモデル、さらには貴重な旧車の試乗会「ニュー & オールドマシン試乗会」が行われました。



ニューモデル試乗会ご協力各社: KTM JAPAN株式会社、ドゥカティジャパン株式会社、ビー・エム・ダブリュー株式会社、株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

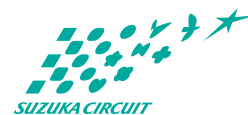
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

イベント&プロモーションシーン6



創設60周年、そしてレジェンドチームの参戦など大きな話題を呼んだヨシムラ。その挑戦の歴史をご紹介します「ヨシムラ60周年特別展示～挑み続ける技術者たち～」が開催されました。



鈴鹿8耐第1回大会で直接対決を果たしたヨシムラスズキGS1000(左 レプリカ車)とHonda RCB1000。



第3回大会優勝マシンGS1000R(右奥)をはじめとした80年代の8耐マシン群。



“ゴッドハンド”の異名を持つヨシムラチューニングが施されたマニア垂涎のストリートバイク。



21世紀も続くヨシムラとHondaの戦い。第27回大会優勝のHonda CBR1000RR(左)と第30回大会優勝のヨシムラスズキGSX-R1000。



記念すべき第1回大会で使用されたチームウェアなど、マシン以外の貴重な品も数多く展示されました。



展示だけでなく、エンジン始動体験も。往年のレーシングサウンドに黒山の人だかりができていました。

PICK UP 3

宮城光さんが司会を務めるトーク「俺の話を開け!」。ヨシムラの歴史の生き証人の皆さんと興味深いお話を繰り広げました。



グレアム・クロスビー氏(左)と名メカニック浅川邦夫さん(中)と。



吉村不二雄氏と。ステージ右に展示されているのは世界で初めて集合マフラーを装着したHonda CB750Four K0レーサー。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【大会冠ご協賛】



コカ・コーラ ゼロ

【PR・販売ブース ご出展各社】



エヴァンゲリオンレーシング(PR・販売)
株式会社カワサキモータースジャパン(PR)
KTM JAPAN株式会社(PR・販売)
コカ・コーラ ゼロ(PR・販売)

スズキ株式会社(PR・販売)
住友ゴム工業株式会社(PR)
一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF) (PR)
日本特殊陶業株式会社(PR)

有限会社NUTEC Japan(PR)
株式会社ブリヂストン(PR)
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン(PR・販売)
ヤマハ発動機販売株式会社(PR)

【サーキットビジョンご協賛各社】



コカ・コーラ ゼロ
 日本情報産業株式会社
 住友ゴム工業株式会社
 本田技研工業株式会社
 株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

【スポット看板ご掲出各社】



株式会社アライヘルメット	Intertek	FIM
コカ・コーラ ゼロ	DHL	TISSOT
日本特殊陶業株式会社	MICHELIN	MOTUL

【応援席ご利用各社】



株式会社カワサキモータースジャパン スズキ株式会社 TRICK☆STAR RACING	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン 武蔵精密工業株式会社 ヤマハ発動機株式会社	ヨシムラ応援席
---	---	---------

【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー 124p 35,000部発行

株式会社秋田書店	株式会社内外出版社	株式会社ブレンボ・ジャパン
株式会社アライヘルメット	株式会社ニコン・ニコンイメージングジャパン株式会社	本田技研工業株式会社
コカ・コーラ イーストジャパン株式会社	日信工業株式会社	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
株式会社三栄書房	株式会社NIPPO	株式会社モリワキエンジニアリング
昭和電機株式会社	日本コカ・コーラ株式会社	ヤマハ発動機販売株式会社
株式会社スズキ二輪	日本情報産業株式会社	DHL
住友ゴム工業株式会社	日本特殊陶業株式会社	MOTUL
ソフトバンクテレコム株式会社	株式会社ブリヂストン	TISSOT

【ホスピタリティラウンジご利用各社】

株式会社エフ・シー・シー	Honda DREAM Village
--------------	---------------------

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【カスタムビレッジご出展各社】

株式会社アールエスタイチ	Supre-Bike DIG-IT co.,inc	日本特殊螺旋工業株式会社
株式会社ウインズジャパン	株式会社ツルノテクニカルサービス	ファイトジャパン株式会社
有限会社エム	DOUBLE O Glasses GEAR	株式会社ピーエムシー
クラフトアルマジロ株式会社	株式会社D.I.D.	MOTOSALON OKA
サミット・グローバル・ジャパン株式会社	株式会社寺本自動車商会	株式会社レッドパロン
株式会社ザム・ジャパン	株式会社東亜製作所	

【BASE 8耐ご協力各社】

ーニューマシン試乗会ご協力各社ー

KTM JAPAN株式会社	ビー・エム・ダブリュー株式会社
ドッカティジャパン株式会社	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

ーオールドマシン試乗会ご協力各社ー

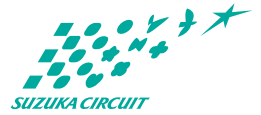
飯田輪業	コンボイ
L'S Factory	

ー自治体PRブースー

伊賀上野観光協会	鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会	浜松市
甲賀市観光協会	豊橋市	三重県観光キャンペーン推進協議会



地元とのコラボレーション



「モータースポーツ都市」を宣言して10周年を迎える鈴鹿市。そして周辺自治体のモータースポーツの対するご理解と多大なご支援、さらに地元住民の皆さんのご理解とご協力に裏打ちされた活動が定着・拡大しています。



地元チームの必勝・安全祈願と壮行会が近鉄白子駅東口の「勝速日神社(かつはやびじんじや)」で執り行われました(21日(月・祝)) 主催:NPO法人 鈴鹿モータースポーツ友の会



鈴鹿市の友好都市 アメリカ・オハイオ州ベルフォンテン市からホームステイに訪れた子どもたちがケビン・シュワーツ選手を表敬訪問しました。(25日(金)) 協力:公益財団法人 鈴鹿国際交流協会



「バイクであいたいパレード」は今回が16回目。「鈴鹿ヘレディゴ」を合言葉に助成枠を設けての開催。市内ショッピングセンターから鈴鹿サーキットまで交通安全をアピールしながら約600台がパレードしました(26日(土))。主催:鈴鹿商工会議所青年部



大会終了後、鈴鹿市役所1階「モータースポーツ振興コーナー」に地元チームのマシン2台が展示され、市民に公開されました。企画:NPO法人 鈴鹿モータースポーツ友の会

PICK UP 4

「BASE 8耐」会場には各自治体・団体のPRブースを設置、地域の魅力をアピールいただきました。

(出展自治体)

- 伊賀上野観光協会
- 甲賀市観光協会
- 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
- 豊橋市
- 浜松市
- 三重県観光キャンペーン推進協議会



三重県の観光・物産を紹介した三重県観光キャンペーン推進協議会ブースでは、バイクで楽しむ三重県をアピール。



鈴鹿市と周辺の5市町で構成される「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」では「アルバックカーグランプリ」と題したゲームが大好評。



TRICK☆STARとのコラボで注目を集める伊賀上野観光協会と甲賀市観光協会の共同ブースでは「忍者の里」にふさわしい手裏剣体験が大人気でした。



F.C.C. TSR Hondaを応援する「出世の街」浜松市ブースでは昔なつかしい「射的」ゲームを開催。



MuSAHI RT/ハルク・プロをサポートする豊橋市。名産のちくわをもじった「ちく輪なげ」が行われました。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733



バイクの仕組みや速く走れる秘密をモータースポーツジャーナリスト小倉茂徳さんのわかりやすい解説で学んでいただきました(レーシングシアター前広場)。



宮城光氏が耐久レースの秘話など興味深いトークを繰り広げた「俺の話の聞け! 特別版」(レーシングシアター)。



夜間走行時にひときわ映える“光る”応援うちわ作り教室が開催され、思い思いの応援メッセージを込めたステキな作品が出来上がっていました(レーシングシアター前広場)。



コチラちゃんファンクラブ、コチラレーシングファンクラブの会員様の中から抽選で、決勝直前のホームストレートで行われた「フラッグセレモニー」にご参加いただきました。



親子や子ども同士で協力し合いながら15分の耐久レースを楽しむ「コチラレーシングファンクラブプレゼンツ 2014プチ耐久」みんなで協力!もっと8tai」(遊園地内「ツーリングバイク」)。



S-PLAZA2階に設けられた「クールダウンエリア」。空調の効いた快適な室内で、映像とタイムモニターで観戦をお楽しみいただきました。



Honda NM4-01を駆って、奥様とタンデムで「バイクであいたいパレード」にご参加いただいたコカ・コーライーストジャパン代表取締役副社長マイケル・ワームス様。



表彰式&花火のあとは、完走した全チームを称える「完走賞授与式」。メダルの授与やシャンパンファイトなど、8耐を戦い抜いたライダーやスタッフの笑顔と歓声がいっぱいでした。来年も鈴鹿でお会いしましょう!

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

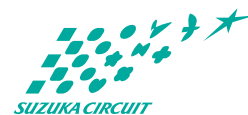
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2014年8月1日現在